

## 市町ごみ処理カルテの活用促進に関する当面の対応

- 市町がごみ処理を効率的・効果的に運営するために、ごみ処理の実態や経費面の観点からの活用資料となる「市町ごみ処理カルテ」を作成し、市町に活用を促していました。
- 平成 24 年 12 月に実施した市町等へのアンケート調査（ごみ処理カルテの活用状況）結果では、「全く活用していない」と回答した市町等が 6 割（回答 29 市町中 18 市町）でした。  
活用してない理由としては「分析結果の活用方法が分からない」が最も多く、今後の活用予定について「活用していきたい」と回答した市町等は 5 割に留まっています。
- ごみ処理カルテの活用を進めるため、早急に市町のニーズを把握し、ニーズに呼応した活用促進方法について市町に説明を行います。  
具体的な対応は、以下のとおりとします。

### 市町のニーズ調査

- ・ 調査市町 複数市町 ※人口が多い又はごみ処理体制を変更する 2～3 市町を念頭
- ・ 調査時期 25 年 1 月中下旬
- ・ 調査内容 カルテに関する市町の現状認識、ニーズ、活用に向けた意見交換

### 全市町への説明

市町のニーズに関する対応整理を行った上で、市町行政連絡会議の場を活用して、ごみ処理カルテの活用促進について説明を実施

- ・ 開催時期 25 年 2 月頃
- ・ 説明内容 ごみ処理カルテの概要、指標値を向上するための対応方法、意見交換等

### （参考）ごみ処理カルテの指標と対応施策

- コスト（指標 5）と 3 R 推進（指標 1～4）の観点から効率的・効果的な処理体制を構築
- 指標 1（人口一人一日当たりごみ総排出量）家庭ごみ有料化、排出削減に関する普及啓発、容器包装の簡素化の簡素化等
- 指標 2（資源化率）分別の徹底、回収物の資源化促進等
- 指標 3（資源としての再利用率）分別の徹底、回収物の資源化促進、生ごみ等のリサイクル等
- 指標 4（廃棄物のうち最終処分される割合）分別の徹底、回収物の資源化促進等
- 指標 5（人口一人当たりの年間処理経費）各経費コスト（収集、中間処理、最終処分、その他）の削減

### 添付資料

ごみ処理カルテ総括表シートの例